



# おぐに議会だより



第47号

令和4年8月10日

○令和4年 第2回定例会  
○町政を問う(一般質問)

表紙の写真  
〈小国の花火2021〉

# 令和4年第2回定例会 令和4年6月8日(水)～10日(金)

(議案名は一部短縮して記載しているものがあります)

## 【専決処分事項の承認】

### ○承認第3号 専決第1号税条例の一部改正

…DV、ストーカー被害者保護のために課税台帳閲覧を制限する措置など。法改正に伴うもの。

全員賛成  
可決

### ○承認第4号 専決第2号国民健康保険税条例の一部改正

…課税限度額の引き上げ。最大99万円を102万円に。

賛成多数  
可決

### ○承認第5号 専決第3号一般会計補正予算(第1号)

…50万円追加し、59億6,250万円に。ウクライナへの寄付金。

全員賛成  
可決

## 【条例】

### ○議案第25号 税条例の一部改正

…新型コロナウイルスに係る特例等。法改正に伴うもの。

全員賛成  
可決

### ○議案第26号 国民健康保険税条例の一部改正

…賦課方式から資産割を無くして3方式(所得割、均等割、平等割)に改めるための税率変更。

賛成多数  
可決

### ○議案第27号 手数料条例の一部改正

…地籍図をデータで交付する際の手数料(1件500円)を設けるなど。

全員賛成  
可決

### ○議案第28号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正

…利用給付認定を受けた保護者に特定子ども子育て支援の提供をした場合は、事業者は領収証および提供証明書を発行することとされているが、交付しなくてもよい例外を規定するもの。特定子ども・子育て支援とは、預かり保育事業・認可外保育施設・一時預かり事業などで、小国町では小国幼稚園が一時預かり事業を行っている。

全員賛成  
可決

### ○議案第29号 総合整備計画の策定

…新たに令和4年度から令和8年度までの計画を策定するもの。辺地指定された名原、岳の湯、明里、田原の各辺地内の道路舗装・改良事業を5年間に合計4億5,770万円で計画。

全員賛成  
可決

### ○議案第30号 熊本行政不服審査会共同設置規約の変更

…同審査会の共同設置に山鹿市が加わるもの。

全員賛成  
可決

### ○議案第31号 県市町村共同事務組合格約の一部変更

…構成団体が名称を「小国町外一ヶ町公立病院組合」から「小国郷公立病院組合」に改名した事に伴う規約の変更。

全員賛成  
可決

## 【 予 算 】

### ○議案第32号 一般会計補正予算（第2号）

…1億3,781万円追加し、61億31万円に。

主な内容：森林組合の木材選別機購入費助成6,497万円、飲食店時短協礼金1,375万6千円、旧西里小校舎活用プロジェクト運營業務委託料900万円など。

賛成多数  
可決

### ○議案第33号 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

…増減なしの10億4,806万6千円。

内容：資産割廃止分の1,211万円を一般会計から繰り入れる事で、賦課方式変更による固定資産を持っていない人などの保険税の急激な値上がりを緩和するもの。

賛成多数  
可決

## 【 人 事 】

### ○同意第2号 固定資産評価委員選任

…前任の北里慎治氏が退職した事による後任人事

氏 名 小野寿宏  
生年月日 昭和38年7月5日  
住 所 北里

全員賛成  
同意

### ○諮問第1号 人権擁護委員の推薦

…前任の穴井り香氏の任期満了による後任人事

氏 名 石田清美  
生年月日 昭和46年4月22日  
住 所 黒淵



全員賛成

## 【 報 告 】

### ○報告第2号 公共工事請負契約の変更(町道下滴水線道路改良工事)

…609万1,381円増加し、9,244万1,381円に。舗装面積の増加などによるもの。

報告のみ  
裁決なし

### ○報告第3号 令和3年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

…19億5,576万5千円を令和4年度に繰り越すもの。

主な内容：令和2年豪雨災害復旧事業8億694万6千円、北里柴三郎記念館シアタールーム建設事業4億3,770万2千円など。

報告のみ  
裁決なし

### ○報告第4号 令和3年度一般会計事故繰越し繰越計算書

…11億1,913万円を令和4年度に繰り越すもの。

主な内容：令和2年豪雨災害復旧事業(農地)1億9,152万1千円、令和2年豪雨災害復旧事業(町道、河川)8億2,189万6千円など。

報告のみ  
裁決なし

## 賛否が分かれた議題の採決結果

議案番号	議題名	採決結果	時松	江藤	穴見	久野	児玉	大塚	西田	松本	熊谷
承認 4	専決処分事項の承認を求めることについて(専決第2号:小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	承認	○	○	○	○	×	○	○	○	○
26	小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○
32	令和4年度小国町一般会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	×	○	×	○	○
33	令和4年度小国町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○

## 一部事務組合議会報告

### 令和4年第1回小国町外一ヶ町公立病院組合定例会報告 令和4年3月30日(水)

報告者：久野 達也

- 議案第1号 熊本県市町村総合事務組合同規約の一部を変更する規約  
…(交通災害見舞金に関する事務の共同処理について、宇城市を削る)
- 議案第2号 小国町外一ヶ町公立病院組合を小国郷公立病院組合への名称  
変更に伴う関係条例の整備に関する条例  
…(名称を、小国町外一ヶ町公立病院組合から小国郷公立病院組合へ変更する)
- 議案第3号 小国郷公立病院組合一般職員の給与に関する条例の一部を  
改正する条例  
…(職員等の期末手当基礎額(100分の7.5減など)の改正)
- 議案第4号 令和4年度小国郷公立病院組合病院事業会計予算  
…収益的収入 16億8,167万1千円 収益的支出 16億8,167万1千円  
資本的収入 8,017万4千円 資本的支出 1億1,958万5千円

### 令和4年第1回阿蘇広域行政事務組合定例会 令和4年3月25日(金)

報告者：江藤 理一郎

全8議案が提出され、全て全会一致で可決された。内、小国町に関連する議案は以下の通り

- 議案第4号 令和3年度一般会計補正予算(第4号)  
…(4,168万円の減額補正が提出され、歳入歳出総額35億1,652万円となった。内、小国町の負担金は3年度最終で3億4,874万円となっている)
- 議案第6号 令和4年度一般会計予算  
…歳入歳出合計33億2,046万円の予算が可決された。  
(主な歳出:未来館長期包括的運営管理委託6億125万円、清掃施設改良工事4億6,335万円、施設包括的運転管理業務委託1億8,103万円、救助工作車1億5,215万円、償還金2億3,197万円、消防1億562万円など)

一般質問一覧表

P 5 下	熊谷 博行	①北里柴三郎記念館シアタールーム建設について ②小学校専門教諭配置について ③中学校部活動について
P 6 上	久野 達也	①(仮称)北里柴三郎シアタールーム計画 ②鍋ヶ滝等予約システムの現状推移と検証
P 6 下	時松 昭弘	①奨学金制度について ②森林環境譲与税について
P 7 上	穴見まち子	①各小学校跡地の利用について ②小国町全域の橋梁の点検について
P 7 下	松本 明雄	①国道等の構想、橋梁、急傾斜地 ②小国町の今後の経済について ③コロナ対策事業について
P 8 上	児玉 智博	①鍋ヶ滝公園について ②災害時の避難情報について ③町の契約に係る保証人について
P 8 下	大塚 英博	①コロナ感染対策 ②小国町の高齢化対策 ③小国町の明るい未来に向けて
P 9 上	西田 直美	①高齢者の生きがいづくり ②旧西里小学校のESD役割とは何か
P 9 下	江藤理一郎	①少子化対策と子育て環境整備について ②町の活性化策について



北里柴三郎  
顕彰事業スタート

熊谷 博行

図3月議会で可決承認した北里柴三郎シアタールーム建設事業は基本設計も不十分な中、数ヶ月で実施設計まで至った事には感銘を受けた。しかし3月議会にて説明を受けた工事金額・工期等に誤差は生じていないか心配である。前回は、8ヶ月必要と言ったが何も根拠がある話ではなかった。物価高騰・資材納入遅れ等で、他県では田植えもできなかった事例もある。入札が6月、議会承認、計画立案、見積、準備工が7月末までとして、8月に着工すれば来年3月末で実質工期は200日程度と思う。働き方改革の中で不眠不休などありえない。再度工事概要と今後の工事の進め方を説明願う。

【情報課長】工事概要は、総工費4億3千800万

円。工期は3月末で工事にかかる費用約3億円。その他に設計監理、非接触型デジタルコンテンツ等となっている。

【建設課長】工期の件で、議員の言う通り建築・外構が工事のウェイトを占めているので、議会承認後早々の着工はできない。そうなれば8月着工、3月竣工となる。実質8ヶ月という形の中で工事を進める事になる。物価高騰・資材納入困難等が考えられると共に昨今の異常気象もあり何が起こるか想像もできない。建設業者も週休二日制の導入を検討している。無理な施工にならぬよう工程会議を密に行い竣工を目指す。

【熊谷】無事故で竣工が迎えられる事を期待する。



シアタールーム建設予定地



## 北里柴三郎記念館 シアタールーム計画

久野 達也

○北里柴三郎記念館施設は、博士が寄贈された北里文庫と貴賓館に加えて北里大学・研究所による周辺整備等により現在に至っており、町は施設管理を担ってきたと思う。今回、町が事業主体として取り組む、北里柴三郎記念館シアタールーム（仮称）計画の概要や意義、意気込み等お聞かせ頂きたい。

【町長】2024年博士の肖像が新千円札に採用される事に合わせ博士の顕彰を進め、北里大学・研究所や多くの企業を含め町民の皆さんと話しをさせて頂き顕彰事業を進めたい。

【情報課長】新紙幣の肖像採用もあり、町が率先し顕彰事業に取り組みたい。施設整備は、まち・ひと・しごと創生総合戦略計画を策定し町が事業主体として採用された補助事業として実施している。

○シアタールーム完成後の管理運営をどう考えているか。施設完成後の議決要件ではあるが、今の段階で町は直営管理と指定管理をどのように考えているか。

【情報課長】記念館をはじめ木魂館、北里バラン、游学寮など一連の施設全体で「北里カントリーパーク構想」がある。現状としては一般財団法人学びやの里が指定管理を受けている。公設公営と公設民営の考え方があがるが、現段階では公設民営（指定管理）のメリットを生かしながら運営していけたらと考えている。

○小国町は博士の出身地であり、博士の業績・偉業の実態は北里大学・研究所が主体であり、指定管理を行っているのは一般財団法人学びやの里である。この三者間の関係性の構築は重要だと思うが、現状や将来性はどうか。

【情報課長】これまでも財団が大きなパイプを繋いできており、研究所の所見としても三者での包括協定で固まりつつある。また、県も参入し町の各種団体等で構成した顕彰事業のための推進連絡協議会も立ち上げたい。

【町長】熊本大学も独自なところでの柴三郎博士顕彰事業の申出も頂いている。今後、協議体を作って連携協定等も行い、町内外の方々の目に留まるよう頑張っていきたい。



## 奨学金制度・ 森林環境譲与税 について

時松 昭弘

○現在の小国町の奨学金貸与の状況は。

【教委事務局】高校生月1万2千円、大学生月4万5千円まで可能。今年度の申込みは大学生2名。随時受け付けている。

○コロナで困窮する学生もいる。国も給付型制度が来ている。小国町はどうか。

【教育長】教育委員会では見直しの話は出ていない。○財源確保は大変だろうが電源立地交付金など600万円程確保できるのではないかと。将来の小国町を背負う人材を育てるためにも給付型奨学金を設ける必要があるのではないかと。

【教委事務局】国の低所得者世帯対象の高校生等奨学金給付金を昨年度小国高校生34名、409万1千円受給した。他にも給付制度があるのでそちらも利用していただきたい。

【時松】町の財源が厳しくとも取り組む課題だ。広く情報を伝えてもらいたい。

○森林環境譲与税の設立から3年。これまで全国で500億円のうち228億円が間伐材や木材利用の促進に使われたが残り275億円が使われていない。有効活用しなければ今後環境税の動きが厳しくなるかもしれない。町の計画は。

【産業課長】これまで8千405万1千円のうち3千44万2,993円使った。今年は4千400万円程予定しているが全額使う予定。森林整備、後継者育成、機械整備の導入なども検討する。

【時松】地球温暖化防止など森林の多面的機能を考え有効活用しなければならない。道路の沿線木や危険木の整理に使えば景観も良くなる。

【町長】特定財源として使える場所があればしっかり使って林業の振興に努めたい。

【時松】森林作業の担い手不足に加え一人親方も今は40人ほどで高齢化が進んでいる。高額機械の購入は厳しいので、機械のリース料に環境税を使って支援していただきたい。

【町長】担い手育成、就労環境改善、機械の導入を担当課と話をさせていただき要綱に合わせた形で取り組んでいきたい。



穴見まち子

## 各小学校跡地の利用・ 小国町全域の 橋梁点検

○小国町の小学校統合により各小学校は廃校になった。跡地の利用状況は。

【総務課長】各小学校は社会福祉協議会、生活介護事業、農事組合の倉庫、町の倉庫、消防団詰所に利用している。廃校となった学校の体育館は災害時の避難所として利用されている。

○旧西里小学校は持続可能な教育、環境、学習、エネルギーと未来につながると思っているが方向性は。

【町長】旧西里小学校に地域おこし協力隊をおき、たくさんの方々の交流拠点になれるよう再生可能エネルギー構想の事業など結び付けたい。

【穴見】多くの方の知恵を借りて一歩、二歩の体制を作りたい。

○圓管子トンネルの事故を受け、国土交通省から橋の点検をするようになったと聞いている。町の橋の数と対応は。

【建設課長】町には165の橋があり、点検は5年サイクルで行っている。

【町長】いずれは修理をしないではいけない。そのためにも億単位の費用がかかる。財政措置を国の方に図っていただくことを考えている。



旧西里小学校



松本 明雄

## 大雨災害の対策・ 中規格道路

○100年、200年に一度起こるような大雨が近年では千年に一度の規模の大雨が降る話になっている。大雨などの災害時の避難は先ずは自助。自分の身の安全を一番に考え早めの行動を。そして共助。皆さんの力を借りて一緒に考え行動する。避難行動を始める目安を持つことも大事ではと考える。出来るだけ明るいうちの避難を心がけて欲しい。それに伴い先ずは水害などを事前に防げる方法として橋の改良、高さを上げて中のピアを外し水の流れを良くするなど検討していただきたい。また中規格道路も阿蘇方面ではなく、大津から合志へ先につながる。小国町の利便性を考えれば大観峰の下に中規格道路のインターを作ってもらえるよう要望をお願いします。

【建設課長】中規格道路を含め大規模災害時等にも役立つように、九州各県より熊本都市圏まで全て150分または90分で来れるようなネットワークを組む形で構想が進められている。滝室坂と復興ルートをつなぐルートの計画はまだこれからだが、少しでも大観峰寄りになればと考える。

○小国町には急傾斜地も多く危険な所もたくさんある。採択条件、基準もあると思うが、基準緩和など可能であればお願いしたい。

【建設課長】国庫補助事業の場合は、斜面の傾斜角度30度以上切り立っているというのが条件。崖の高さ10m以上、その保全地域に係る民家が10戸以上で事業費7千万円以上が採択条件となる。県の単費で行う場合は傾斜角度30度、山の高さ5m以上は金額に指定はない。その他災害復旧として事業採択を受ける3パターンがある。



跨線橋



## 点かない 滝のライトアップ

児玉 智博

閩町は新型コロナウイルス対策臨時交付金から、3,300万円を使い鍋ヶ滝と下城滝、鍋釜滝にライトアップ設備を取付けた。去年の大型連休前には完成しておきながら、10月に実験的にライトアップツアーが行われたが、この1年間稼働していない。観光関係者に、町から今年はいつライトアップをするのか聞いているかと尋ねたが、何も聞いていないという事だった。感染の波が一旦収束したのに大型連休にライトアップが行われなかったのはなぜか。今後どう活用するのか。

【町長】どなたに聞いたのか分からないが、観光関係者であればしっかり話をして活用していきたいから、ライトアップのツアーはどうにかなら

ないかとか、逆に言ったら町の方から、しっかりそういった観光協会に色んな方がおられるから、関係者にしっかり話を一緒に取り組んで参りたい。

閩ライトアップを今後どう活用するのか聞いた事に答えがない。観光関係者なら自分からどう活用するかを言って来いという事か。なぜ言っていないのかというと、ライトアップツアーに観光関係者が魅力を感じていないからではないか。町長の思いだけで突っ走って取り付けたわけだが、本来であればその前にみんなの意見を聞いておけば、観光関係者も「今年はどうしますか」と聞いて来るはず。そうなっていない事について、町長自らの姿勢を顧みて反省した方がいい。

【町長】日々反省をさせてもらっている。しかし後悔はしていない。ライトアップは地元の要望も聞いた上で取付けた。コロナウイルスでなかなかやりにくい状況だが、これからもライトアップの仕組みを使っていきながら、時間帯、料金も含め、今は準備段階だと思っている。準備をしっかりと進めて行きたい。町長は日々反省する事が仕事だと思っている。



## コロナ禍・ 高齢化による 小国町の将来は

大塚 英博

閩現在のコロナ対策について伺う。

【町民課長】濃厚接触者の判定基準については、潜伏期間と発症期間が短いオミクロン株の特徴を踏まえ、感染者からはすべての感染者に対する濃厚接触者の特定を含む積極的疫学調査を行わないことになっている。感染者に対しては、10日間の療養期間が必要とされている。濃厚接触者に関しては、濃厚接触者となるという内容を感染者に直接保健所から伝える。待機期間は7日間となっている。これは国が示す基本方針を踏まえて、熊本県が対応方針を定めている。今後の4回目のワクチン接種については、3回目から5か月が経過するという条件が必要で、8月末から9月にかけて接種する方が非常に多くなると思わ

れる。今後も接種の必要性を広く周知して接種率の向上に努めていきたいと思う。小国町の接種率は阿蘇管内の平均からすると高い。小児ワクチンに関しても、45%で県下でも二番目に高い接種率になっている。

閩後継者不足と高齢化による産業の衰退、それに伴う人口減少について伺う。

【町長】産業を守っていこうとする国の施策・県の施策をしっかりと小国町で受け止めて行きながら、足りない部分を出来るだけサポートできる仕組みを作っていきたい。

閩鍋ヶ滝公園のバイパスの方向性について伺う。

【町長】随時見直しをかけて行きながら、有利な方法があればそちらの方向に考えていきたい。県・国とも協議をしていきたい。







西田 直美

## 高齢者の生きがいづくり 旧西里小学校のESD活用とは

問3年前に質問した高齢者の生きがいづくりをどのように検討し進めたのか。

【町長】高齢者の健康づくりを中心にサークル活動などで関わっていききたい。

問年金だけで生活が厳しい高齢者もいる。一人暮らしの孤独解消と働いてお金を稼ぐ両方を出来ることが生きがいづくりと考える。その場を町に作って欲しい。

【産業課長】薬味野菜の里が年金＋稼ぐ場として活用されていると思っている。

【西田】野菜作り以外にも様々な事が出来る人が集って働く場所が必要。流通を町が支援することで生きがいづくりが出来る。

問1年前の一般質問で旧西里小学校について聞いて

た時、「SDGsを推進し人材育成の拠点とする」と答弁があった。どこまで進んだのか。

【町長】これから進めるということで補正予算で調査費用500万円、委託料900万円を議会に認めてもらった。

問ID22という会社はこれまで特段の実績がない。2019年に出した事業報告書には小国町を「訪れたい町、働きたい町、住みたい町」にするために旧西里小学校を使うとあるが、そもそも小国の未来を数回しか来たことのない東京の会社に決めさせるのか。町民が入らないで決めることではない。

【町長】第4分団の詰所もあるし避難所にもなっている。地域の人のは是非とも動かしていただきたいという思いもある。

問築30年以上たった雨漏りのするところを詰所や避難所にしているのか。地元の人をもっと聴きたい。もっと具体的に計画が立てられてから予算はつけるものだろう。

【町長】予算は通っているのでしっかり活用させていただきたい。

【西田】地元の意向は大事だ。同時に小国全体の事として考えていただきたい。



江藤理一郎

## 子育て環境と町の活性化策について

問人口が減少し続けているが、コロナ禍においての小国町の出生数や合計特殊出生率は。

【町民課長】令和元年度出生者は51名で1.90、令和2年度が32名で1.47、令和3年度が38名で1.78。コロナの影響はあると思われるが、コロナ収束後も子育てしやすいまちづくりが必要であると思う。

問子育て環境については「高校3年生まで医療費無償」「多子世帯出産祝い金」「子育て支援拠点カンガルーのぼっけ」「放課後児童クラブ」「ひとり親家庭の医療費助成」など他市町村と比較しても遜色ないが、今後は全年代保育料無償化を検討できないか。

【町長】検討はしたいが特定の財源をしっかりと定めていった後の実働だと思う。

問温泉地にぎわい創出事業として杖立温泉とわ

いた温泉で出店する店舗を支援する制度を設け、実際に3軒の出店に繋がったことは非常に良かったと思うが、常に平等性を気にする行政が杖立とわいたに絞ったのはなぜか。

【情報課長】コロナ交付金を財源としており、温泉地に大きなダメージがあったことが前提としてある。問町内には他にも温泉地、観光地はある。今後は全町的に満遍なく起業支援の検討をお願いしたい。

【町長】担当課で考えていると思うが検討する。問企業誘致について、サテライトオフィスやBPOセンター、データセンター等積極的誘致についてどこをターゲットに考えているか。

【町長】クリーンエネルギーを中心に時代が回ること間違いなし。データセンター等は地元地銀等からも話がある。

問水や地熱を使ってできるエネルギーは水素であり、隣の九重町では実証実験が行われている。将来、町で生み出すことのできる水素エネルギーの活用は。

【町長】送電線の問題やどこの企業と組んでいくのかも大きな課題であるが、可能性は限りなくある。判断を共有していきたい。

## 勉強会の開催

- ◆ 6月3日(金)、おぐに町民センターにて、北里柴三郎記念館シアタールームの件について勉強会が開催され、建設課より建築や外構工事について説明があった。

## 文教厚生常任委員会における所管事務の調査

- ◆ 2月に発生した「サポートセンター悠愛の新型コロナウイルス感染について」経緯の把握、今後の予防体制等を他の施設にも活かしていくために委員会を開催し調査を行なった。

### 【第1回(4月5日)】

出席委員：江藤、児玉、時松、穴見、大塚、西田      オブザーバー：松崎

2月7日に96名(利用者58名、職員38名)のクラスターが発生したサポートセンター第二悠愛における感染拡大の経緯や予防策について、施設側からの説明を求め対話を図ることとして調査継続と決した。

### 【第2回(4月21日)】

出席委員：江藤、児玉、時松、穴見、大塚、西田      オブザーバー：松崎

サポートセンター悠愛からの報告書提出及び現地での説明及び質疑応答が実行された。その後会議の開催となり、採決の結果「サポートセンター悠愛の新型コロナウイルス感染について」は賛成多数をもって調査終了とすることと決した。

## 編集後記

議会では本来、傍聴者の方は議場傍聴席に同席頂き、町執行部の提案説明や議員の質疑・意見など直接感じ取って頂きたいのですが、3月、6月の定例会は議場傍聴席への入場をご遠慮いただき、町民センター1階ロビーでのテレビ中継による傍聴と皆様にはご不便をおかけしました。皆様のご理解とご協力による感染症対策としての措置でした。このように私たちの日常生活は新型コロナウイルス感染症対策抜きには考えられません。感染状況の波も上下動を繰り返し、町でも第4回目の接種へ進行しています。私たち一人ひとりの力は微力ですが、これらを意識することにより1日も早い収束へと繋げていきたいものです。

(文責 久野)

### 【発行責任者】

議長 松崎 俊一

### 【広報委員会】

委員長 西田 直美

副委員長 江藤理一郎

委員 久野 達也

委員 児玉 智博



## 傍聴に来ませんか

続くコロナ禍のために3月、6月議会とも議場内傍聴が出来ず、1階ロビーでの映像による傍聴となりました。生の議会をご覧いただくのが一番ですがコロナ禍ではやむを得ません。

約1か月遅れにはなりますが、各議員の一般質問はおぐチャンでノーカット放送されます。様々な事について各議員が質問していますのでぜひご覧ください。

※次の定例会は9月です。

日程は広報やおぐチャンでお知らせします。

町議会の会議録は町ホームページの中に掲載されています。ご覧ください。



## 表紙について

「小国の花火2021」はコロナ禍のなか、医療従事者への感謝と子どもたちの未来に贈る花火として実施されました。2022はどんな花を咲かせるでしょう。